



令和5年7月24日(月)

〒385-0053 佐久市野沢335-1 Tel. 62-0360 野沢中学校長:塚田 直道

E-mail:nozawachu@sakushi.ed.jp Fax. 62-2401 発行責任者:田中 章子(教頭)

戦争について考える「

みなさんこんにちは。今日で一学期を修了します。一学期は七十六日間ありましたが、みなさん充実した一学期にすることができたでしょうか。よく振り返り、夏休みや二学期に生かしていきましょう。

さてみなさん、この写真を見てください。裸足の少年が小さい子を背負い立っています。この少年は、姿勢を正してつづぐ前を見ています。口を力強く閉じて、何かをじっと見つめています。何を見ているのでしょうか。

この写真は、アメリカ人カメラマンのジョー・オダニエルが一九四五年に長崎で撮影した写真です。写真のタイトルは「焼き場に立つ少年」。ジョー・オダニエルはこの写真を撮影したときの様子を後日、このように語っています。

佐世保から長崎に入った私は、小さい丘の上から下を眺めていました。すると、白いマスクをかけた男達が目に入りました。男達は、60センチ程の深さにえぐった穴のそばで、作業をしていました。荷重に山積みした死体を、火が燃える穴の中に、次々と入れていたのです。十歳ぐらいの少年が、歩いてくるのが目に留まりました。おんぶもたすきにかけて、幼子を背中に背負っています。弟や妹をおんぶしたまま、広場で遊んでいる子供の姿は、当時の日本によく目にする光景でした。しかし、この少年の様子は、はつきりと違っています。重大な目的を持ってこの焼き場にやってきました。強い意志が感じられました。しかし、目を凝らして見ると、少年は、焼き場のふちまで来て、硬い表情で、目を覆って立ち尽くしています。背中、赤ん坊は、ぐったり眠っているのか、首を後ろにのけぞらせたままです。

少年は焼き場のふちに近づき、ゆくりとおんぶもたすきを解き始めました。この時私は、背中の幼子が既に死んでいる事に、初めて気付いたのです。男達は、幼子の手と足を持って、ゆくりと葬るように、焼き場の熱い灰の上に横たえました。それから、まばゆい程の炎が、さつと舞い立ちました。真・赤な夕日のような炎は、直立不動の少年のままだよけい顔も、赤く照らしました。その時です。炎を食い入るようにつける少年の唇に、血がにじんでいるのに気が付いたのは、少年が、あまりきつく噛み締めている為、唇の血は流れる事もなく、ただ少年の下唇に、赤くにじんでいました。

夕日のような炎が静まりました。少年はくろりとときびすを返し、沈黙のまま、焼き場を去っていました。

この写真の状況を理解してきましたか。この写真が撮られた一九四五年は、太平洋戦争が終わった年です。後の研究で、この写真の少年は被爆している可能性があることがわかりました。この幼子も被爆によって亡くなったのかも知れません。

この少年はどんな思いで幼子が焼かれていくのを見ていたのでしょうか。想像してみてください。

夏休み中に、八月六日広島への原爆投下の日、八月九日長崎への原爆投下の日、八月十五日終戦の日が来ます。焼き場に立つ少年の思いを想像しながら、戦争について考えてください。戦争は過去の話ではありません。ロシアによるウクライナ侵攻によっても過去の話ではなくなった方が、今まさに大勢の国です。

八月二十三日、二学期が始まります。充実した夏休みにして元気に登校してください。これで話を終わります。最後まで聴いてくれてありがとうございます。学校長



中体連夏季大会等

野中生大健闘

県大会および吹奏楽コンクールは、今月15日(土)～17(月)に開催されました。北信越大会は来月31日～4日石川県開催、全国大会は四国地区開催来月17日～開催の予定です。合唱部の東信地区コンクールは31日(月)に開催されます。

6月24日、25日 中体連東信大会結果

- 野球部
 - 対 御代田中 5-3 逆転勝ち 県大会出場
 - 対 上田五中 12-0 5回コールド勝ち
 - 対 浅間中 6-4 特別延長(9回) 東信3位
- 男子バスケット部
 - 対 真田中 67-35 勝ち
 - 対 依田窪部中 65-73
- 女子バスケット部
 - 対 上田五中 89-19 勝ち 県大会出場
 - 対 上田三中 97-39 勝ち
 - 対 中込中 62-38 勝ち
 - 対 浅間中 56-52 勝ち 東信優勝
- 女子バレーボール部
 - 対 塩田中 1-2 負け
 - 対 真田中 2-1 勝ち
 - 対 南牧中 2-0 負け
- 男子テニス部
 - <団体戦>
 - 対 上田五中 0-3 負け
 - <個人戦> 決勝リーグ
 - 小池直裕・新海廉斗ペア ベスト16 県大会出場
 - 橋詰きよ・赤池唯人ペア ベスト16 県大会出場
 - 佐々木優羽・関修翔ペア 2回戦敗退
- 女子テニス部
 - <個人戦> 決勝リーグ
 - 城山花鈴・小池美愛ペア 2回戦敗退
 - 飯島美緒・坂本彩音ペア 1回戦敗退
 - 茂木夏琉・岡村彩那ペア 1回戦敗退
- 卓球部
 - <団体戦>
 - 予選リーグ 2位
 - 上位リーグ
 - 対 上田四中 0-3
 - 対 佐久穂中 1-3
 - 対 上田三中 1-3
 - <個人戦>
 - 伊坂清志郎・竹内蒼翔 ベスト16 県大会出場
 - 白田怡生・屋島朋聖 2回戦敗退
- 柔道部
 - <男子団体戦> 2位
 - <個人戦> (階級別)
 - 女子 伊藤あかり 2位
 - 男子 伊坂連 1位
 - 櫻山奨 2位
 - 岩下慶政 3位
 - 菊原心暉 4位
 - 石井海翔 4位
 - 半田佑莉 4位
 - 内藤雄哉 ベスト8
 - ※4位以上は県大会出場。
- 剣道部
 - <男子団体戦>
 - 予選リーグ1位
 - 決勝トーナメント 対 塩田中 0-4 負け
 - <女子団体戦>
 - 予選リーグ2位
 - 決勝トーナメント
 - 対 東御東部中 2-1 勝ち
 - 対 上田五中 0-3 負け(準決勝)
 - 対 佐久長聖中 2-1 勝ち(3位決定戦)
 - ※東信大会3位で県大会出場。
- 水泳
 - <女子50M自由形>
 - 清水胡羽・堀込乃愛 県大会出場
 - <女子200M自由形>
 - 清水胡羽・堀込乃愛 県大会出場
 - <男子50M自由形><100Mバタフライ>
 - 中嶋响太 標準記録突破ならず



7月1日、2日 陸上県大会 入賞者

<男子>

- 橋詰 蓮平 100MH 1位 【全国大会、北信越大会出場】
- 須田 岳琉 四種競技 3位 【北信越大会出場】
- 櫻井 大治 棒高跳び 7位

<女子>

- 川元 唯風 砲丸投げ 2位 【北信越大会出場】
- 中嶋 美代 砲丸投げ 3位 【北信越大会出場】
- 竹内 瑞喜 200M 7位
- 大澤 都奏子 四種競技 6位
- 林 菜々子 四種競技 8位
- 中嶋 優佳 100MH 4位
- 女子共通リレー100M×4 8位

県大会 結果

【剣道】
女子団体戦 リーグ戦敗退

【野球】
対 広徳中 3-5 惜敗
【女子バスケット】
対 春富、駒ヶ根東中 56-50 勝ち
対 更徳中 48-66 惜敗

【柔道】
<男子団体戦> ベスト8
<男子個人戦> 伊坂連 2位 【北信越大会出場】
岩下慶政、櫻山奨、半田佑莉 ベスト8
菊原心暉、石井海翔 ベスト16
<女子個人戦> 伊藤あかり ベスト8

【男子テニス】
<個人戦>
小池直裕・新海廉斗ペア 1回戦敗退
橋詰きよ・赤池唯人ペア 1回戦敗退

【卓球】
<男子個人戦>
伊坂清志郎 1回戦敗退
竹内蒼翔 1回戦敗退

【水泳】
50m自由形、200m自由形 清水胡羽 堀込乃愛 予選敗退

【吹奏楽】
吹奏楽コンクール 東信地区大会 B編制部 銅賞

8月 月暦表							校内の会合・行事など		
日	曜	朝	I	II	III	IV	V	VI	
1	火								北信越大会7/31-8/6 石川県 2回戦3回戦4回戦5回戦(県大会)
2	水								消防設備点検 ICT支援員来校
3	木								
4	金								吹奏楽県大会 夏の職員研修
5	土								
6	日								
7	月								
8	火								じゅうたんクリーニング
9	水								合唱コンクール県大会
10	木								学校閉庁 8/16まで
11	金								山の頁
12	土								
13	日								
14	月								
15	火								
16	水								
17	木								全国大会～26日
18	金								
19	土								P.T.A作業 学校保健委員会(午前中)
20	日								第4回恒久・小諸地区水泳記録会(本校プール)
21	月								進路はれやか相談
22	火								
23	水	学級	行学	12	13	14			2学期始業式 放課後学習会
24	木	合唱	21	22	20	23	24		3年総合テスト
25	金		15	16	17	18	19	総	
26	土								
27	日								
28	月	合唱	26	27	25	28	29	総	モジゴワザ転スチール(1集)
29	火		32	33	30	31	34	総	ICT支援員来校
30	水		37	38	35	36	39	総	放課後学習会
31	木	合唱	40	41	42	43	44	総	

ALT セレステ先生ありがとう

約1年間、ALTとして野沢中学校と泉小で英語を教えてくださいましたセレステ先生。バブーネ先生が1学期をもって、ご退任なさいました。セレステ先生は、日本の文化が大好きで、日本の文化をより深く理解するために日本語の勉強も重ねてきました。この度、ご自身の研究をさらに深めるため、佐久市を離れることになりました。セレステ先生とはお別れになりますが、これらも様々な人との出会いから、私たち自身の内面を豊かに充実させていきたいものです。

非違行為防止研修

7月12日(水)の放課後、県警スクールサポーターを講師に迎え、非違行為防止の職員研修を行いました。今回は、交通安全珠に飲酒運転についての研修を受けました。飲酒をして事故を起こしたら、一体どうなるのか、具体的にお話しいただきましたが、驚かされるのがたくさんありました。安全安心な地域づくりのため、保護者や地域の皆様とも情報を共有できればと思います。

【飲酒運転とは】
①酔い運転
免許取り消し、欠格期間3年
②酒気帯び運転
0.25mg/l以上
免許取り消し、欠格期間2年
0.15mg/l以上0.25mg/l以内
免許停止90日

「ちょっと休んだから。」
なんてごまかしはききません。
「二日酔い、も立派な飲酒運転。『立派な犯罪』です。」

【ひき逃げ】
①救護義務違反
②報告義務違反
③過失運転致死傷罪
④危険運転致死傷罪

【同乗罪】
飲酒したことを知っていて車に乗っていたり、お乗り運転をさせるなど危険運転を『見過ごし』た場合、罪に問われます。

飲酒をすると判断が鈍り、車の運転をすと危険な状況が生まれます。物や人にもぶつかれば、飲酒運転に加えて、罪が重くなります。ぶつかってその場から逃げてしまつたら、さらに罪が重くなります。また、自分が運転していないでも罪に問われることがあるのです。それに加えて、車等の修理代や医療費などもかかるかもしれません。信号機に衝突して壊したら、約5000万円のお金を請求されるそうです。

「酒は百薬の長」でも「命をけずるかな」でもある

飲酒運転に付随しておろちな違反

安全な夏休みを

新型コロナウイルスが5類になり、様々な活動が活発化してきています。それに伴って、小中学生の事故が増えてきています。長野県でも、つい最近、川で遊んでいた小学生がおぼれて死亡した事故がありました。また、佐久圏域では6、7月に小学生・中学生・高校生が絡んだ交通事故が複数件起きています。本校でも本年度、三件の自転車と自動車との接触事故が起きています。夏休み明け、皆さんの明るく元気な姿に会えるよう、安全に十分気を付けて過ごしてください。

夏期の水難防止

水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。また県外の海で遊泳中に溺水する水難も発生しています。「水」に対する危険性について、家族や友人と話し合ったり、地域全体で危険箇所の点検や、魚釣りや水遊びの際には、ライフジャケットを着用するなど、必要な安全対策を進めましょう。

○令和4年中の水難発生状況

区分	発生件数	死者	負傷者	無事救出
河・川	4件	3人		1人
用水路	3件	2人	1人	
湖・池	2件			5人
その他				
合計	9件	5人	1人	6人



- 水難に遭わないために次のことに注意してください。
- ①子供から目を離さない
過去には、親や保護者が付近にいないから、子供から目を離した際に、池等に転落する水難が発生しています。子供は活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせる時は、周囲に危険箇所がないかを確認、目を離さないようにしましょう。
 - ②魚釣りや水遊びは複数で
一人で魚釣りや水遊びに出掛けると、万が一水難に遭った際に助けを呼ぶことができません。なるべく複数人で出掛けるとともに、ライフジャケットを着用しましょう。また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。
 - ③危険箇所には立ち入らない
普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨によって短時間で水位が上昇する場所があります。各家庭や地域等で、危険箇所を点検するとともに、危険箇所には立ち入らないようにしましょう。
- 作成：長野県警察本部地域部山岳安全対策課

自転車 ヘルメット着用努力義務化

改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。自転車運転する際は、運転する人がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、同乗者にもヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。また、保護者等は児童や幼児が自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。なぜヘルメットをかぶらないといけないのでしょうか。警視庁によると、自転車乗用中の死亡事故の半数以上が頭部損傷が致命傷となっているのです。また、ヘルメット着用時の致死率と非着用時の致死率を比較すると、ヘルメットを着用していないと2、2倍も死亡率が上がります。私たちの命を守るために、ヘルメットは必要なのです。

自転車保健の義務化

長野県をはじめとする多くの都道府県で、自転車保険への加入が義務化されています。自転車事故による賠償金の計算方法は、自動車と同じです。自分でけがをした時も、相手にけがをさせた時も、自転車による事故が起こった際には、高額賠償金が請求されるケースがあるのです。自転車通学でない人たちも、自転車保険に加入する必要があります。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

野中応援歌の歴史

「野中応援歌第一」は「岸野中学校生徒会歌」

道路工事があります

コロナが明け、今年度は社行会で、野沢中学校の「応援歌」を数年ぶりに歌いました。野沢中学校には、「応援歌」が2つありますが、3年生と応援委員の尽力により、「応援歌」が1、2年生に引き継がれました。教職員の中にも、野中卒業生がおり、伝統が無事引き継がれたことに胸をなでおろしました。

昭和34年度 第6号 岸野部校『生徒会誌』に「生徒会歌」が掲載されました。作詞作曲は当時の3年生の山田武海さん。岸野部校では、現在の応援歌とは異なるメロディーで歌っていたそうです。昭和36年に岸野部校と野沢中学校が合併し、新たな野沢中学校がスタートしました。岸野部校生徒会歌は異なるメロディーで『野中応援歌』になったのです。

取付町旧142号線一部区間が8月から12月まで、片側交通規制になります。長期にわたる工事です。ご注意ください。

先日、市教育委員会に、「岸野中学校」の校歌についての問い合わせがありました。本校にあった文献には岸野中学校の校歌についての叙述がありませんでした。CS学校運営委員会の折、その話をしたところ、運営委員の内山さんが、当時の記憶をたどって、すごい情報をくださいました。



岸野部校の生徒会歌は三番までありました。

